令和４年第４回定例会諸報告

令和４年１２月９日

第４回定例会開会にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

朝夕の空気の冷たさを感じる季節を迎え、令和４年も残すところ３週間あまりとなりました。

令和４年も感染症対策やワクチン接種など、新型コロナウイルスへの対応を余儀なくされた年でありました。新薬などのニュースもあり有効性に期待するところではありますが、旅行や外食等感染機会の拡大で第８波も心配されております。改めて、感染拡大防止に努めますとともに、社会経済活動との両立を図るための施策に力を尽くしてまいります。

議員各位におかれましても、ご支援のほどよろしくお願いいたします。

それでは、現在取り組んでおります主な各種の施策や事業について、現状及び進捗状況をご報告させていただきます。

１）子育て支援

１２月より教職員の業務負担の軽減、保護者の利便性向上に向け学校給食費の公会計化を開始いたします。

社会教育に関しましては、徳島県内外の新型コロナウイルス感染症拡大状況を注視しつつ、北島町文化祭を３年ぶりに開催いたしました。

今後の文化・体育各種事業については実施に向け準備を進めながらも、県内感染拡大状況をみて慎重に判断してまいります。

町立保育所では、老朽化しておりました総合遊具、ジャングルジム、砂場テントを撤去し、９月にジャングルジム、砂場テントを新しく設置いたしました。今後も室内、室外とも子どもたちが安全に生活できるように整えてまいります。

給食センターでは、栄養教諭や調理業務等の受託事業者と連携しながら、新しいメニューや調理方法を試行し、より安全・安心な給食運営を進めております。

食育啓発につきましては、栄養教諭や管理栄養士が各幼稚園を訪問し、紙芝居で給食指導を行ったほか、小・中学校に向けては、食に関するＤＶＤを作成し、給食時間に観てもらうなど、子どもたちに食への関心や理解を深められるよう、食育の推進を図っております。

図書館では、１０月～１１月にかけて秋の読書週間に関連して、「おはなしのへや」、「赤ちゃんのおはなしのへや」などの読み聞かせ会や「リサイクルフェア」を開催いたしました。

創世ホールの事業としては、１０月３０日にアイルランド音楽の演奏会を開催し好評を博しました。

２）高齢者・障がい者支援

本町における障がい福祉施策の計画である「北島町障がい者計画」「北島町障がい福祉計画・北島町障がい児福祉計画」は、令和５年度をもって今期の計画期間が満了いたします。これを受け、障がい福祉の一層の充実に向けた次期計画の策定準備を進めております。

包括支援センターでは、新型コロナウイルス感染予防に努めながら、認知症サポーター養成講座や認知症の当事者とご家族が集い思いを発信できるオレンジカフェを開催しております。１０月開催の「きたじまるしぇ」においては、オレンジカフェ参加者による作品展示やメッセージ入りの風船を配布するなど、当事者やご家族、認知症サポーターとともに普及啓発に取り組みました。

また、若年性認知症について、介護事業所関係のほか、町内企業や住民の方を対象に、当事者とご家族、県の若年性認知症支援コーディネーターによる鼎談形式での講演会を開催いたしました。今後も、認知症の当事者やご家族の視点を重視した様々な支援事業に取り組んでまいります。

高齢者、障がい者、妊産婦などの方々に、安心・快適に利用していただくため、庁舎正面駐車場に「思いやりスペース」「子育て応援スペース」と表示して、駐車優先スペースを設置いたしました。

３）安心・安全なまちづくり

９月２８日に、消防庁「災害伝承１０年プロジェクト」により、宮城県仙台市から語り部の講師をお迎えし、水害などの災害に対し地域住民による自助と共助の取り組みについて講演していただきました。当日は女性防災会や防災士会の皆さまと連携しながら運営し、多くの方々に耳を傾けていただけました。

また１０月３０日には、東京大学から講師をお招きして、職員を対象とした災害マネジメントに係る研修を実施し、災害発生時からの対応などを確認いたしました。新型コロナウイルスの影響も注意しながら、今後も研修等の機会を検討してまいります。

新型コロナウイルス感染者が増加傾向にあり、「第８波」の様相を呈する中、この冬はインフルエンザとの同時流行にも備える必要があります。

１０月からはインフルエンザワクチンの接種が始まり、平行して新型コロナウイルスに対するオミクロン株対応ワクチンの接種も実施しております。

４）地域の活性化

「第８回きたじまるしぇ」を庁舎駐車場を利用して１０月２日に開催いたしました。今回は徳島板野警察署、板野東部消防組合、海上自衛隊に協力いただき展示ブースを設置いたしました。阿波銀行やインディゴソックスにも参加いただき体験コーナーも設けることができました。コロナ禍のなかではありましたが充分対策を行いながら開催し、多くの町民の方々に楽しんでいただけました。

今年の菊花展も小規模ながらサンライフ前に展示スペースを設けて開催し、菊の花を楽しんでいただきました。

５）社会基盤整備

今後も多発するであろう豪雨や台風時の内水氾濫に備えて、江尻取水樋門から東へと延びる主要幹線部約２㎞の区間において浚渫業務の発注を行いました。

また、令和元年度より町内各小学校の通学路を含む生活道路において安全対策工事を行っておりますが、今年度は現在北島北小学校付近の通学路においてカラー舗装および路面標示を施工しております。

上水道事業につきましては、大規模災害時においても安定した水道水の供給ができるよう、指定避難所、防災拠点となっております北島北小学校、ＹＧＫドーム並びに板野東部消防署へ向けた管路の耐震化を図るため、町道２号線配水管布設替工事を発注いたしました。

また、浄水場施設では、配水ポンプのインバータ更新工事が完了しております。

鳴門市との共同浄水場整備事業では、濃縮槽の基礎杭工事及び本町に向けた河川横断送水管の到達立坑の地盤改良に着手をしたところです。今後も鳴門市と連携し、令和８年４月１日の供用開始に向けて着実に事業を進めてまいります。

公共下水道事業は、汚水処理構想の見直しを受け、今後の公共下水道整備に係る幹線ルート、管渠計画、財政計画などの全体事業計画の策定を進めております。

また、第７処理分区、グリーンタウン内の公共下水道整備では、既設管路施設の調査が終了し、調査結果の判定を基に、現在、管渠の整備方法をまとめております。

併せて、グリーンタウンからの幹線管渠に関しては、整備方法を年度内にまとめるべく、関係機関と協議を重ねております。

令和５年度には、管渠詳細設計業務に着手できるよう進めてまいります。

広域ごみ処理施設整備事業の見通しにつきましては、１１月３０日の連絡会議の場で徳島市が脱退を表明しましたが、事務局である徳島市の担当部署からは今後の事務手続きにかかる具体のスケジュールなどは示されておりません。

この事態を受け、１２月５日に徳島市を除く１市３町により、今後の進め方について協議の場を持ちましたが、現在の枠組みは解消せざる得ない状況となっております。今後は、各市町で最善策を模索し、ごみ処理施設整備の方針を検討していくことになります。

６）その他

国が実施しているマイナンバーカードのマイナポイント事業第２弾の対象となるマイナンバーカード申請期限が令和４年１２月末日となっていることに合わせ、１２月の第２日曜日に予約制でマイナンバーカードの申請及び交付の手続き等を行える休日臨時窓口を開設いたします。役場開庁時間内に窓口に来られることが難しい方等にも活用していただき、マイナンバーカードの普及に努めてまいります。

１１月７日、８日に「接遇」「マナー」のスキルアップとして職員向けビジネスマナー研修を実施いたしました。コロナ禍の状況を踏まえ参加人数を制限し２４名の参加で開催いたしました。

なお、新規採用職員向けの研修については、６月７日に実施しております。

今後も引き続き、住民福祉の向上を目指し最善を尽くしてまいりますので議員各位をはじめ、町民の皆さまのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げ報告といたします。